

体育祭

生徒会長 コレット 達也

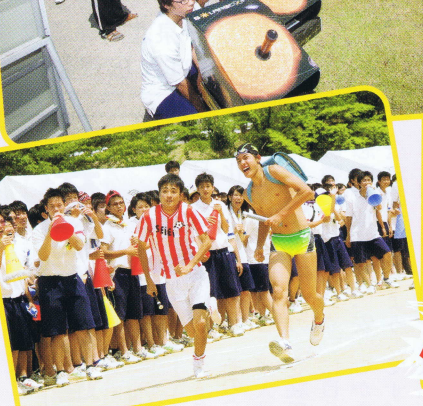
高校祭体育の部当日の一ヶ月前から、多くの人たちが準備を開始していた。生徒会はいつものように書類をつくったり、打ち合わせをしたりで忙しかった。応援団は毎日朝早くから集まり、ダンスの練習だけでなく、腕章やビラ配りも手伝ってくれた。各クラブの部員ならびに顧問の先生方にも、公式試合に向けての練習が忙しい中、たくさんのご協力をいただいた。

こんな風に学校全体が力を貸してくださるのは、それだけ生徒たちが真剣に競技に取り組むからであろう。毎年、体育祭本番では、生徒たち一人ひとりが全力で勝利を手にしようと奮闘する。そんな姿を見てみると、苦労して準備した甲斐があるなと感じた。

勝敗にかかわらず、頑張れば頑張った分だけ大切な思い出として自分に返ってくる。そんな体育祭ができたことをとても喜ばしく思う。



ワイルドだぜ〜!! 泉北



体育祭だぜ〜ん〜

「国際応援団!」

最高の「114人!」

国際文化科 応援団長

3年3組 川合 周斗

最初団長をやると決まった時、国際で男が団長やるからには、絶対に迫力あるものにしろ。」と思った。色々考えた結果「人数100人以上でやる」という目標をたてた。副団と一緒にめっちゃ勧誘がんばった。そしたら、過去最高114人も集まった。人数数えたと最高にうれしかった。「ええもん作らなっ」という自分に対するプレッシャーで練習では、厳しいことも言った。でも団員113人が必死に頑張ってくれた。だから夜7時ぐらいまで毎日残って楽しませたろ思ってた作業した。本当に万全の状態本番に臨んだ。みんなめっちゃ笑顔やった。本番やってる時、内心泣きそうやった。ほんま団長やって良かったって思った。最後にはサプライズもあってもう我慢できなくて泣いてしまった。本当に国際文化応援団、最高でしたーそして、ありがとう!

体育祭の盛り上げ

総合科学科 応援団長 3年5組 家弓 陽介

「体育祭、盛り上げていくぞー」という勢いだけで応援団に入り、団長、そして応援団としても活動するのは初めての経験だった。

初めての応援団ということ、何をすべきか全く何も把握できていない白紙の状態からのスタートだった。活動しだして要領が分かってくると同時に、団員も徐々に増えて役割分担もできて良い流れになっていった。体育祭前日の準備には、団員全員が取り組んでくれてスムーズに準備できた。

そして、体育祭が終わった時は、達成感で満たされていた。

もし、内容から準備、片付けまでのことを自分達でしていなかったら、こんな達成感は無かったと思う。共に準備、盛り上げしてくれた仲間はもちろん、仕事を任せてくれた先生方には心から感謝している。

SSH課題研究発表会

台湾の高校生との交流

6月23日(土)に大阪府立大学のUホールで、総合科学科3年生による「課題研究発表会」が開催されました。2年の7月から身近な疑問をテーマに、自分たちで実験計画を立て、失敗を繰り返しながらもみんな対策を考え、放課後や休日登校して熱心に取組んだ成果を口頭とポスター形式で発表しました。37名の保護者をはじめ、100名を超える多数の来客から称賛の言葉をいただきました。

1年2組 青木 佑大

私は今回の交流を通して、自分の未熟さと国際的な交流に必要なことを感じる事ができました。

2年2組 嶋合 浩斗

台湾の方との交流があると聞いた時、相手の英語をきちんと聞きとれるのか、しっかりと自分の英語がきちんと伝わるのかという不安でいっぱいだった。

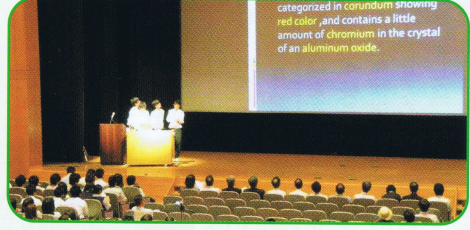
3年2組 島田 直哉

5月16日、台湾の高校生との交流がありました。言葉が通じにくいので初めはお互い話しかけづらい雰囲気だったけど、紙に書いていたりジェスチャーを使ったりコミュニケーションを取ることができました。台湾では日本のアニメが人気らしくてその話題で盛り上がりました。

何と知らなかったのか、この恥をかきました。このことによって、自国の事を他国の人々へ伝える能力が必要だと気付かされました。まだまだこれからですが、しっかりと国際力を養い、頑張ろうと思います。

またこのような異文化との交流がある時は、積極的に交流していきたい。

初めて知った文化もあって僕としても勉強になりました。お茶の葉をお土産にももらって家で飲んだらとてもおいしかったです。今回の交流を通じて中国語も英語も実践で使えるようにもっと勉強していきたいと感じました。



クワスマツチ結果

男子バスケットボール 優勝 3年5組

女子バスケットボール 優勝 2年5組

バレーボール 優勝 1年3組

キックベース 優勝 2年6組

ドッジボール 優勝 2年2組

ミニサッカー 優勝 2年3組

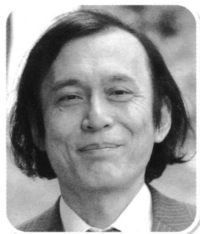
見学会



6月30日(土)、22名の保護者の方々と、6名の教員で関西学院大学見学と酒造見学のバスツアーに出かけました。バスの中では学年ごとのレクレーションが次々と行われ、楽しい一日でした。

泉北PTAだより かなえ

発行・編集
大阪府立
泉北高等学校
PTA 広報委員会



保護者の皆様へ

学校長 桑原 志郎

いつも泉北高校の教育に御協力いただきありがとうございます。今年4月より校長として着任しました桑原志郎と申します。昨年は教頭としてお世話になりました。「学力の増進」「進路実績の向上」「開かれた学校作り」など、課題は山積ですが、泉北高校に進学して「さてよかったです」と在学中も卒業時、また、それから後の人生ずっと思っていただけのように

な学校にしようと思いが、今年文科省よりSSHの再指定をいただき、これから5年間、「英語のできる理系の人材、女子の理系進学者」の育成などの新たな研究開発にあたります。また、大阪府教委から指定をいただいている English Frontier High School 事業は2年目を迎え、「GET」

学校の様子は、今年より「広報」専門の分掌を作り、より早く詳しく様々なメディアでお伝えしていこうと思っております。2、3年の保護者の皆様は、この2ヶ月でこれまでと少し変わったなあと感じていただいております。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひします。



楽しもう泉北高校

PTA会長 亀丸 康代

本年度、会長を務めさせて頂くことになりました。泉北高校への娘の入学とともにPTA役員をさせて頂き、学校に足を運ぶ機会が多い中、一番の印象は生徒達の気持ちの良さです。クラブ活動にも力を入れていて、どの生徒も元気にあいさつをして

れ、学校全体が活き活きしています。昨年は、娘の短期留学や、留学生の受け入れも経験させて頂き、親子共々とても楽しく貴重な体験ができました。子供が高校生にもなる行事にもなかなか参加できないイメージですが、泉北高校はPTAのお母様方も楽しんでお

卒業生の進路を振り返って

進路指導部 綿谷 里美子

日本経済の様相が変化しているに伴い、入試の傾向も変化してきています。不況の影響を受け、国立志向や地元志向、安全志向が目立つようになっています。特にAO入試は出願の時期が早く設定されていますので、遅れをとらないよう注意が必要です。昨年度は、選考で得意分野をうまく生かした生徒が合格を勝ち取っています。また、大学センター入試への出願者が前年度に比べて十数名増加し、一般入試での合格を目標に最後まで諦めない姿勢を堅持することができていました。

現在、42期生が25年度入試受験に向けて奮闘しています。五月中旬に校内で開催した三年生対象の分野別説明会で講師の

方、「入れる学校」ではなく、「入りたい学校」を持つことが大切であると強調されました。当り前のことですが、卒業後の将来に向けて勉強するための条件が整っているのは三年生です。その環境を十分に活用し、「入りたい」という意志を揺るがさず勉強を継続していくことです。現役生には「伸びしろ」があり、伸びる時期がかなり先で受験の直前になってしまったため、しばらく低迷が続くことになり途中で諦めるという残念な場合が生じることもありました。泉北生のみならず、ぜひ自分を信じて「入りたい学校」への合格を手中に収めてください。

進路状況

国公立大学	私立大学	専門学校	就職
大阪教育大学 1名	同志社大学 2名	大阪医療センター附属看護 2名	公務員 2名
和歌山大学 6名	立命館大学 7名	大阪労災看護 2名	民間 2名
広島大学 1名	関西大学 63名	近畿大学附属看護 3名	
愛媛大学 1名	関西学院大学 20名		
福岡大学 1名	近畿大学 136名		
電気通信大学 1名	京都産業大学 8名		
大阪府立大学 7名	甲南大学 2名		
神戸市外国語大学 2名	龍谷大学 13名		
兵庫県立大学 1名	同志社女子大学 6名		
滋賀県立大学 1名			

Be Campの思い出

1年3組 堀川 晴花

私たちはBe Campで国際文化科として皆さんの経験をさせていただきました。特に外国の方々の国際交流は本当に思い出に残っています。その交流によって少しはあると思いますが私たちに英語力が身につきました。初めは緊張しなかなが質問などしにくい部分もありましたが、お話ししてくださった方が本当に気を遣ってくれ、楽しく交流することができました。そしてなによりこのBe Campでクラスのみならず仲良くなることができました。一日目の夜の英語のクイズや二日目の野外でのクイズで班の生徒とも仲良くなれました。



校外学習 国際文化科

2年2組 香山 稜太

最初に立命館大学を訪問して、泉北の卒業生や立命館大学の生徒さんに大学についての話を話してもらって、高校生活は大学、将来の準備、大学生活の楽しさなどを聞いて、大学で自由な生活を送りたいなと思いました。泉北生のみならず、ぜひ自分を信じて「入りたい学校」への合格を手中に収めてください。



サイエンスキャンプの思い出

1年5組 中尾 葉奈

私の一番の思い出は、西はりま天文台での研修活動です。観望会は、あじろの天気を見ることができませんでした。それが少し残念でしたが、日食や星座のことを詳しく説明してもらってとても勉強になりました。朝の集いでは、みんなで自然の中を散歩しました。澄んだ空気と普段触れることのない多くの自然に触れて、清々しい気持ちになりました。四月に初めて出会う、仲良くなった仲間と過ごした2日間、クラスの仲間をもっと知ることができました。サイエンスキャンプは私たちにとても大切な時間になったと思います。



校外研修 総合科学科

2年7組 岡山 達哉

五月二十五日、総合科学科の二年生は校外研修で和歌山の天神崎に行きました。午前中は天神崎の自然について学びました。多くの人ががナショナルトラスト運動に参加し、天神崎の豊かな自然を守っていること知り、天神崎の磯観察をしました。昼頃は引き潮なのでタイドプール(潮溜まり)を観察しました。そこには多種多様な生物が住んでいました。例えばカニやナマコ、クラゲ、ウニなどです。ほかにも熱帯で見られるような生物もいました。色々な生物に触れることもでき、良い経験になったと思います。とても楽しかったです。



遠足の思い出

3年5組 仲谷・小芝・森

三年の遠足は、総科で初めての遠足だったので行く前からとても楽しみでした。班も昼食も自由なので、それを決めるのも楽しかったし、食材を友達と色々工夫して買うこともできました。雨が降るかも心配だったが、無事に行けた良かった。着くと雨は止んでいて、僕達の班は男だけだったのでテキパキと準備が進み、すぐに食べる事ができました。完成度は最高だった。その後は、主に水遊びをして遊んで楽しかった。



国際親善委員長

大村 かわり

昨年はほとんど活動が無かった国際親善委員会ですが、今年、当初よりルウエーからの留学生マリウちゃんとの日本語サポートが始まっています。ステイ先や学校での勉強とはまた違った形で、学校での母親的存在でサポートが出来たら良いなという思いで皆協力しています。

文化委員長

長谷 裕美子

24年度文化委員の活動として、高校祭体育の部でスポーツドリンクを配布しました。晴れた空の下、真剣に競技に取り組む生徒達は汗いっぱい。水で冷えた飲料はとても好評で喜んでもらえました。9月の文化の部では、毎年好評の「喫茶かなえ」を開きます。

広報委員長

坂邊 千加

広報委員会では、学校での色々な行事や、PTA活動を伝える、泉北PTAだより「かなえ」の発行をしています。今年度も「かなえ」を三回発行いたします。各学期末に、色々な学校行事やPTA活動を、先生方や生徒たちの声をお届けし、皆さんに楽しんで見て頂けるように頑張っています。